



ミニコンサート:川口真由美さんと島田篤さんの演奏



メインスピーカー:畠山澄子さん(ピースポート共同代表)の訴え



プロフィール
ピースポート共同代表
ピースポートでは「ヒロシマ地球一周〜証言の軌跡〜」(通称:おひるの地球一周)や若者向けの教育プログラム「地球大学」に携わる。現在は立教大学や早稲田大学で、小中学生向けの平和教育ワークショップなど、平和や戦争をテーマにした様々な活動のプログラムにも関わっている。TBS「サンデーモーニング」にコメンテーターとして出演。



主催者あいさつ:羽梁 修弁護士



来賓あいさつ:井坂信彦衆院議員



来賓あいさつ:金田峰生さん



来賓あいさつ:米村明美さん

5・3 憲法アピール

8月6日、広島 9日、長崎に原子爆弾が投下されてから今年で被爆80年、8月15日の終戦から戦後80年になります。

8月6日 ヒロシマで被爆した詩人の原真喜さんは、「・・・人類は戦争と戦争の谷間にみじめな生を営むのであろうか。原子爆弾の殺人光線もそれが、直接彼の皮膚をやかなければ、その意味が感覚できないのであろうか。人間が人間を殺りくすることに対する抗議は果たして無力に終わるのであろうか」と語り続け、問い続けました。

8月9日被爆直後の長崎を訪れた米軍カメラマン、ジョー・オダネルさんは「焼き場にやってきた、やせ細り、ぼろぼろの服を着て・・・その背中に2歳にもならないほどの悲しみに打ちひしがれた顔を見守り・・・肩を抱くことも声をかけることもできないまま立ち尽くしていた」(「焼き場に」)と記しています。

1945年8月15日終戦から80年経ちましたが、被爆者である原さんや少年、幾千万の人びとの命をうばった戦争が、どのような目的で、どのようにして始まり、どのようにして止めることができたのか、その原因と責任について明かにし、二度と戦争を繰り返さないこと、核兵器を世界からなくすることが、私たち求め続けられています。

憲法9条は先の戦争で、人間の尊厳と自由を奪われた幾千万の人びとの命があがわれた。平和と戦争のない世界への道しるべです。ウクライナやガザで起きていることを目をそらすしてはいけません。耳をふさいではならないと思います。今、この時にも奪われつつある暮らしや人間の尊厳、一つひとつのいのちを想い、平和について考え続けましょう。考え続け行動することは未来への希望につながります。

核兵器や戦争のない世界と未来は、今を生きている私たち、未来の子どものための願いです。

2025年5月3日
戦争させない、9条壊すな！5・3兵庫憲法集会



高校生平和大使の松尾さん



高校生平和大使の鈴木君



閉会:あすわか近藤弁護士



集会後参加者は、3コースに分かれて、神戸市内パレード



神戸 2025年(令和7年)5月4日 日曜日

「憲法で戦争にあらがう」

施行78年、神戸で護憲派集会

憲法記念日の3日、平和主義と護憲を訴える「戦争させない、9条壊すな!」5・3兵庫憲法集会が神戸市中央区のみなどの公園で開かれた。主催者発表で500人が参加し、「9条を守れ」なご声を上げた。(一面参照)

県内の護憲団体でつくる実行委員会が主催。開会に先立ち、「9条の心ネットワーク」の羽梁修弁護士が「パレスチナへの攻撃やウクライナ戦争など、世界中で惨劇が繰り返されている。厳しい状況だが、憲法9条を守る戦いを引き続き、9条を守れ」とあいさつした。

憲法記念日に合わせて開かれた「戦争させない、9条壊すな! 5・3兵庫憲法集会」=3日午後、神戸市中央区小野浜町

つた。続いて、非政府組織「NGOピースポート」共同代表の畠山澄子さんが登壇。世界中を巡って戦争と平和を考えた経験や、憲法が大事だと言いつける。平和というものは壊しにくいけれど、積極的に守っていくべきだと語りかけた。(杉山雅崇)